

市川総合病院麻酔科

プロフィール

1. 教室員と主研究テーマ

教授	小坂橋俊哉	(緩和ケア科) がん性疼痛に対するタペントドールの有効性と副作用の検討
	金田 徹	(麻酔科) 腹臥位手術中の温風式加温装置の安全使用についての検討
准教授	芹田 良平	脳下垂体ホルモンであるオキシトシンが敗血症の心筋および血管系におよぼす影響
	大内 貴志	脳外科血管内手術の際の体温保持の試み
助教	小藺 祐紀	患者フィブリノゲン濃度と新鮮凍結血漿輸血量の適正化に関する研究
	伊東 真吾	静脈内鎮静法中の BIS 値と Integrated pulmonary index との相関性
	小鹿恭太郎	静脈内鎮静法中の BIS 値と Integrated pulmonary index との相関性
臨床専修医	荻原 知美	抗 NMDA 受容体抗体脳炎患者の術後譫妄予防
	久保 直子	口腔外科手術の周術期気道管理における輪状甲状間膜穿刺
	岡田 玲奈	口腔外科手術の周術期気道管理における輪状甲状間膜穿刺
	岸本 敏幸	唇顎口蓋裂患者の周術期合併症についての検討

2. 成果の概要

- 1) タペントドールは μ 受容体アゴニスト作用とノルアドレナリン再取り込み阻害作用を有していることから、侵害刺激の上行性入力の抑制、および下行性疼痛抑制経路の増強作用が考えられている。2014 年 9 月からの 5 か月間にがん性疼痛により緩和ケアチームに依頼があった担癌患者の内、タペントドールが処方された患者の診療記録を後ろ向きに調査し、疼痛軽減度、副作用発現頻度を検討した。タペントドールはがん性の神経障害性痛の患者で有効であった。先行オピオイドで除痛が十分でなかったがん性の神経障害性痛に対しタペントドールへのスイッチは有効であった。また、便秘も解消された症例もあり、タペントドールは有用と考えられた。

(PAIN RESEARCH 30 巻 2 号 2015)

- 2) 手術中の低体温は、狭心症を含む術後心血管系の合併症の発症率や、術後感染症の発症率を増加させ、術後出血量を増加させることが知られている。脳外科血管内手術の際は造影を行う必要上、体温保持の機器を使用できないため、全身麻酔中はしばしば低体温を経験する。近年、患者の体の下に敷くタイプの温風式加温装置用のエアブランケットが開発された。この装置を用いることで、脳外科血管内手術の際の低体温が予防可能かを検討する。
- 3) 静脈内鎮静法施行時には、舌根沈下や呼吸抑制などの呼吸器系イベントを生じやすいため、歯科治療中には意識下鎮静が推奨されている。しかし、重度の歯科恐怖症患者や障害者などには、深鎮静を余儀なくされることがある。今回我々は、鎮静深度が深くなるほど呼吸器系イベントが増加するであろうとの仮定のもと、鎮静深度の指標である BIS 値と呼吸状態の指標である Integrated pulmonary index の相関性について検討した。鎮静はミダゾラム (0.04 mg/kg) と TCI ポンプを用いたプロポフォール (1.5 μ g/ml) で開始し、術中は BIS 値を指標として適宜調節した。BIS 値と IPI の間に弱い正の相関がみられた ($r^2=0.13$)。静脈内鎮静中は鎮静深度にかかわらず患者の呼吸状態を注意深く観察することが重要であると考えられた。

(日本歯科麻酔学会雑誌 43 巻 4 号 2015)

- 4) 術野が気道の一部となる口腔外科手術では、術後の気道閉塞予防のために気管切開や気管チューブ留置等の侵襲的な人工気道確保が選択されてきた。しかし、これらは術後の発語困難や気管チューブの違和感など、患者への負担が大きい。これに対し輪状甲状間膜穿刺は、術後も発語が可能でチューブの違和感も少なく、気管内吸引、酸素の送気、人工呼吸が可能である。救急での緊急気道確保として広く行われている

る輪状甲状間膜穿刺を、当院では口腔外科手術の周術期気道管理として施行しており、その有用性を検討する。

(歯科学報 115 巻 5 号 2015)

3. 研究活動の特記すべき事項

シンポジウム

シンポジスト	年月日	演題	学会名	開催地
小板橋俊哉	2015. 7. 11	新しい制度で麻酔科専門医は どうなる？	東京麻酔専門医会	東京都 渋谷区

学会招待講演・特別講演・教育講演

講演者	年月日	演題	学会名	開催地
小板橋俊哉	2015. 10. 21	プロポフォール麻酔の基本	日本臨床麻酔学会 第 35 回大会 教育講演	横浜市

学術学会に相当しない団体が開催するセミナー・研究会・カンファレンス等における発表・講演

講演者	年月日	演題	会合の名称	開催地
小板橋俊哉	2015. 5. 9	認知機能に及ぼす加齢の影響、 高用量オピオイドと急性耐性	全静脈麻酔研究会	弘前市
小板橋俊哉	2015. 9. 19	がん性疼痛管理最前線 疼痛管理から考える転移性前立 腺癌の治療	疼痛管理から考える転移 性前立腺癌の治療講演会	大阪市
小板橋俊哉	2015. 9. 25	BIS モニタリング活用テクニッ ク	小樽 BIS モニタリングセ ミナー	小樽市
小板橋俊哉	2015. 10. 17	緩和ケア患者の在宅療養移行と 疼痛マネージメントのコツ	第 7 回 東東京緩和ケア ネットワーク講演会	東京都 文京区
小鹿恭太郎	2016. 2. 27	医療安全トピックス	市川市歯科医師会	市川市